

越智文雄の一言モノ申す！

知事！自然冷媒とLEDで 沖縄の電気料金を半分に

本誌

でグラフ旭川との交換月記という企画があるが、気候・風土と文化の違いの北端と南端が誌面で交流するというのは良いアイデアではある。毎日1便のピーチの直行便は北海道の寿司と海鮮丼、ラーメン、ジンギスカンを楽しみに行く沖縄県民のためにある。秋の味覚は最高で、今年はカニも豊漁のようだ。観光客向けの店に行かなくても、地元民が買い物する地元スーパーでカニでもホタテでもホッケでもサンマでも発泡スチロールの箱に入れて持ち帰れば良い。北海道の地元コンビニチェーン、セイコーマートのオリジナルカップ麺や菓子や珍味などを詰め合わせてお土産にする手もある。ファミマとは違う品揃えで大変珍しく喜ばれる。

さて、沖縄あかりみらいを設立して3年。全国の自治体の省エネルギーと財政改善のコンサルティングで駆け回る毎日で、札幌の自宅にいる日数より沖縄滞在の日数の方が多くなった。全国でも格段に高い北海道

の電気料金と沖縄の電気料金を下げてみせようという意気込みで沖縄に渡り、新会社を設立し、今は沖縄グループの協力を得て離島の電力使用量を半減することを目的に、完全LED化と完全脱フロンの実現を目指している。

先月号では高市総理への熱いメッセージを掲載したが、いよいよこの脱フロンで地球温暖化を防ぎ、日本のクーラーの電気代を半分にするプロジェクトを沖縄で宣言する。女子サッカーチームの琉球デイゴスをモデルにしたTVコマースシャルを流しているが、目にした方はいらっしやるだろうか。ここでデイゴスが対戦しているのは「フロンズ」で、これを破ることで地球の温暖化を防ぐ大きな戦いをイメージしている。下のQRコードをご覧ください。

あかりみらいの戦い

7月号で紹介した沖縄電力グループ「沖縄企業」の自然冷媒ガスへの転

換実験は、6月1カ月間の24時間精密測定値がマイナス70パーセントという驚きの結果を記録した。RBC琉球放送ビルの実験ではガスの圧力調整により、ビフォーアフターでなんとマイナス66パーセントを削減した（QRコードをご覧ください）。



ハイチル登場
負けれない闘い篇



琉球放送での
実証記録動画

クーラーの電気代が7割落ちる！作業員の技術の差もあるらしいので、ざっくり「半分になる」としてもノーベル賞級の技術革新である。

さて、前述のデイゴスのコマースシャルで戦っているのは、この猛暑の犯人であるフロンだが、あかりみらいがこれから戦わなくてはならないのは、この技術革新を覆い隠し妨害し続けている既存業界である。オゾンを破壊しない種類のフロンガスを作って「代替フロン」と名付け、地球温暖化を進めるフロンガスを野放しにしている

のが日本である。以前、本誌で「地球温暖化の犯人は沖縄だ」と書いて苦笑いされたが、実は本当である。日本のクーラーのフロンガスが大気に漏れることで世界の温暖化を進めている。だから経産省はフロン漏洩を点検する検査を義務づけている。もう女の子とも呼べないグレッタ・トゥンベリ女史が、当時の小泉進次郎環境大臣に「日本が地球温暖化を進めている」と詰め寄ったのがこの件である。

業界が撒く妨害チラシを公開！

世界の温暖化を救い、熱中症を防ぎ、物価高と電気料金を下げ、国際競争力を増し、世界に打って出る。この高市総理も関心を示しているエネルギー政策が「脱フロンによる自然冷媒転換」である。現実的には世界最大の空調メーカーが、ごまかしの地球温暖化ガス「代替フロン」を止めてノンフロンの自然冷媒ガスに転換した世界最新製品を販売すれば良

いのである。地球温暖化の防止と省エネ製品の開発は企業に課せられた社会的責任であるのだが、（一社）日本冷凍空調工業会は、既存の利権にあぐらをかき、フロンの過剰在庫を処分するまでは絶対反対、妨害する立場である。さらにフロン漏洩の目視点検だけで大きな利益が手に入る点検業者もこれに加担している。この業界が撒いているチラシ（下図）をご覧ください。赤い吹き出しは、総理説明用の資料に書き足したものである。

本来ならば何年も前から国民の電気料金が半分になり、みんなが快適な夏を過ごすことができるものを、業界の利権で事実を隠して妨害する。RBC琉球放送での実験結果をSNSで流した関係者のブログには、即日2万8000通の誹謗中傷メールが集まった。このようなAIネットワークを使うような既存業界との戦いが始まる。

沖縄の新知事誕生を祝して

この原稿の締め切り間際に、沖縄県知事選で古謝玄太候補の当確が報道された。当選のお祝いとして、沖

縄県の電気料金を半分にするエネルギー政策を提言する。逆ザヤで発電している離島の省エネルギーを進めることで、本島の電気料金も下がる。こんな地域は日本中にないのだから、沖縄県は徹底して省エネルギーを進めることが県民のためであり、県経済への現実的で確実な財政削減である。完全LED化と自然冷媒転換で県の電気料金負担は半分になる。数十億にはなるはずで、後は実行あるのみ。今週は高市総理お声がかかりでの霞ヶ関との政策打ち合わせに出向く。沖縄への省エネルギーGX特別措置も提案するので県としてのアイデアと計画も出してほしい。

琉球デイゴスのコマースシャルは、9月中旬から東京MXテレビでも放映が始まった。沖縄は冬でもクーラーを暖房に使う地域なので、一年中の空調電気料金が半分になる。当面は家庭用まで手が回らず業務用、産業用の冷媒ガス交換が優先になるが、日本二高い電気料金に苦しむ沖縄経営者の皆様、自治体の皆様は今すぐお問い合わせください。
沖縄あかりみらいコールセンター
0120-760-814。

根拠の無い誤った情報で
技術革新を妨害

何年間も
事実検証もしないまま
風評を拡げている

過去1万台のガス
入れ替えで故障例
はありません。

炭化水素系ガスの
燃焼温度はフロンと
同程度で火災や爆
発は起こりません。

ノンフロンガスに転
換後には法定のフ
ロン漏洩点検義務
は無くなります。

警告 冷媒入替はダメ！



メーカーが指定していない冷媒
には入れ替えしないでください

製品の性能・機能だけでなく信頼性や安全性を損なうことがあります

冷凍空調製品は、メーカーが指定した冷媒専用
に設計されています

低炭素化や省エネルギー、性能改善、点検費用や電気料金の削減などをうたって指定していない冷媒に入れ替える行為が見受けられます。
指定されていない冷媒を封入すると、製品の不具合や誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性に重大な障害をもたらすおそれがあるため、メーカーは認めていません。

特にノンフロン自然冷媒と称する冷媒の中には、強い燃焼性を持つものもあるため、万が一機外に漏洩したときに火災や爆発などの重大な災害に至るおそれがあり、大変危険です。

メーカーは指定していない冷媒に変更した場合の製品の機能や性能、安全性や信頼性の評価を行いません。また、冷凍空調製品に対して指定外の冷媒に入れ替えた後の、保守や保証、発生した故障や誤作動などの不具合、事故などについて、メーカーはその責任を一切負いません。

発行元 (一社)日本冷凍空調工業会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会

空調業界は根拠のない「警告」で脱フロンを妨害